

平成24年度第2回評議員会を開催



井戸支部長

2月8日(金)、兵庫県支部で平成24年度第2回評議員会が、評議員、役職員31人の出席のもと開催されました。

藤原事務局長から「平成24年度事業進捗状況について」の報告。続いて、平成25年度兵庫県支部事業計画及び平成25年度歳入歳出予算について」の審議があり、いずれも承認されました。

井戸支部長は冒頭の挨拶で、日本赤十字社の災害救護訓練に触れ、他機関との連携がスムーズにいくように訓練を実施していくと述べられました。続いて、昨年12月の海外たすけあいでの街頭募金活動、兵庫県赤十字奉仕団の皆さんのご協力への感謝を述べられました。また、18回目の1月17日、阪神・淡路大震災の日に、近衛社長が式典に出席され、献花もしていただき「いい機会を与えられた」と述べていただいたと、感謝されていました。

地区分区への災害救援車の引渡式

～皆さまの地域での災害救護活動にも一役～

1月22日(火)、兵庫県支部で地区分区災害救援車両の引渡式が行われ、9地区分区から21人の担当者が来所されました。

兵庫県支部では、地域の災害救護活動をはじめ、赤十字活動の支援のため、各地区分区へ災害救援車両を配備しています。

このたび、神戸市兵庫区地区、北区地区、豊岡市地区、養父市地区、朝来市地区、丹波市地区、淡路市地区、多可町分区、佐用町分区への計13台の車両を更新しました。

兵庫県支部の駐車場にずらりと整列した赤十字マークを付けた新しい災害救援車両。県民の皆さまへの災害時支援や、いのちと健康を守る活動のため、活躍し続けます。



新車両の説明を受けます

講習のご案内 ～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

平成25年度の講習会の講習会の日程が決まりました。順次掲載しますので、ぜひ受講してみてください

安心して毎日を過ごすため、急な病気やケガを手当する正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか?日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るためのお手伝いをします。

講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。詳細及びその他の講習についてはホームページで。

www.hyogo.jrc.or.jp

赤十字 兵庫

検索

	内容	開催日
	救急法基礎講習	5月18日(土) 6月1日(土)
	救急法救急員養成講習(2日間)	6月22日(土) 23日(日)
	救急法基礎・救急員養成講習(セット講習 3日間)	4月21日(日) 27日(土) 28日(日) 5月3日(金祝) 4日(土) 5日(日) 5月19日(日) 25日(土) 26日(日)
	水上安全法救助員養成講習会(プール講習 4日間)	5月6日(月祝) 11日(土) 12日(日) 25日(土)
	幼児安全法支援員養成講習(2日間)	5月11日(土) 18日(土)
科目別講習	健康生活支援講習	誰もが知っておきたい介護の基礎知識 4月14日(日) 10:00~12:00
	救急法	高齢者の健康管理と家庭内の事故防止と応急手当 4月14日(日) 13:00~15:00
	救急法	AEDを使用した一次救命処置 4月14日(日) 15:30~17:30

ひょうごの赤十字

2013 MARCH 3月

- 『災害対応力を身につけよう!!』を開催
- 近衛社長に感激!
- 兵庫県日赤有功会「伊勢神宮日帰り旅行」
- 兵庫県日赤有功会の血液事業支援
- 平成24年度第2回評議員会を開催
- 地区分区への災害救援車の引渡式
- 講習のご案内



 日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

『災害対応力を身につけよう!!』を開催 ～知っていれば役に立つ、楽しく身につく知識と技術～

2月11日(月・祝)、丹波市スポーツ施設三ツ塚ふれあいセンター愛育館で、ひょうご安全の日推進事業イベント「災害対応力を身につけよう!!」を開催しました。

今回で6回目となるこのイベントは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承するため、赤十字奉仕団、赤十字防災ボランティアの訓練を兼ねて実施しているものです。

ちらほらと小雪の降り続く中、丹波市赤十字奉仕団、多可町赤十字奉仕団、吉見地区自治会振興会、兵庫県立柏原高等学校の皆さんを始め、赤十字防災ボランティアや特別赤十字奉仕団の皆さんなど約140人が、救護所立上げや炊出し等の訓練を行いました。

また午後からのイベントには家族づれの姿が多く見られました。輪投げやバルーンアートのコーナーは子どもたちにも大人気だったほか、兵庫県無線赤十字奉仕団の無線交信模擬体験や兵庫県写真赤十字奉仕団のフォトレッスンなど、各奉仕団が来場者の皆さんに楽しんでいただく趣向を凝らしたコーナーを設けられる中、兵庫県救難飛行赤十字奉仕団による紙飛行機の作成コーナーでは、計算されて作られたパーツを自分たちで組み立て、飛ばし方の指導を受けるなど、大人から子どもたちまで夢中になっていました。

また、AEDを使った心肺蘇生や三角巾を使ったきずの応急手当、災害時など覚えておくと便利な毛布のガウンや風呂敷等でのリュックの作り方、担架搬送体験など、「へえ、こんなことが出来るんですね」と、災害時だけでなく、日常でも知っておくと役立つ知識を楽しく身につけていただきました。



ママと一緒に出勤!



担架搬送の体験も



毛布はあったかいガウンに



大人気の紙飛行機づくり

近衛社長に感激!

1月16日(水)、日本集団災害医学会総会に出席するため来県した日本赤十字社の近衛忠輝社長が、姫路赤十字病院を訪問。病院内を視察した後、お見送りに整列した姫路赤十字看護専門学校の3年生36人に、励ましの言葉をかけられました。

社長は「もうすぐ国家試験ですか。勉強していますか。頑張ってください。」「何か聞きたいことはありますか。」と、学生達に優しく話しかけていました。

例年本社研修に参加するのですが、この学年は東日本大震災の影響により中止となったため、本社へ行くことができませんでした。

今回の思いがけない社長との対面に、学生たちはそれぞれ「緊張した」「本社の社長に会えて嬉しかった」「試験のことで声をかけてもらって、関心を持って下さっていると感じた」「社長を身近に感じた」と、緊張しながらもとても嬉しい表情を浮かべました。

国家試験まであと約1か月。社長に会えた感激を胸に、合格に向けますます意欲が湧いてきたようです。



近衛社長とお話ができ、感激する学生たち

兵庫県日赤有功会「伊勢神宮日帰り旅行」

1月29日(火)、兵庫県日赤有功会の文化的事業として、伊勢神宮日帰りバス旅行を開催しました。天候にも恵まれ、兵庫県日赤有功会39人が参加されました。

昼食会場である「伊勢戸田屋料庵」で西川清副会長からの挨拶の後、庭園が見える綺麗なお座敷で御膳をいただきました。

昼食後は、伊勢神宮での特別参拝。今年は第62回式年遷宮の年にあたり、多くの参拝者で賑わっていました。五十鈴川に架かる宇治橋を渡ると、凜とした空気に包まれ、厳かな雰囲気の中、御神楽、御垣内参拝の順に執り行われ、それぞれの思いを祈願されていました。

参拝後は、土産物屋等が並ぶ「おかげ横丁」を散策。往復の車中では軽妙な口調のバスガイドさんのお話で笑いが絶えず、楽しいバス旅行となりました。伊勢神宮からいただいたたくさんのパワーは、参加された会員の皆さまの活力となったようです。



「伊勢戸田屋料庵」での昼食



お土産は決まりましたか?



全員で参拝の記念写真

兵庫県日赤有功会の血液事業支援

～献血者記念品「ビスコ保存缶」の提供～

兵庫県日赤有功会から血液事業への支援として、献血者の皆さんへの記念品を提供いただきました。

記念品は、血液が大変不足する厳寒期に、一人でも多くの皆さまに献血のご協力をお願いできるよう、また、1月17日「ひょうご安全の日」にちなんで、5年間保存の利く非常食、人気の「ビスコ保存缶」です。

缶には「協賛 兵庫県日赤有功会」のシールが貼付されています。献血の運営には多くの団体の皆さまが協力していただきます。献血の協力のみならず、会場の準備、提供をしていただいている「主催団体」、献血者の動員や呼びかけなど協力いただいている「共催団体」、今回のように、記念品などを通じて支援いただく「協賛団体」。献血は、献血者の皆さんと日本赤十字社、行政機関だけで成り立っているのではなく、このように数多くの団体からのご支援をいただけてこそ、毎日実施できています。

兵庫県日赤有功会は、より多くの皆さまに献血に協力していただけるよう、これからも支援を続けてまいります。



献血協力者に「ビスコ保存缶」